

にしっこ 西っ子のみなさんへ 142 3月14日

新体操は、「体操競技」の一種で、リボンやボールなどの道具を使いながら音楽に合わせて、13メートル四方のフロアマット上で演技をするスポーツです。競い合うのは芸術的で採点方式で行なわれます

「新体操」という競技名の「新」は、1963年に開催された世界新体操選手権の英語表記が「modern gymnastics」であったため、modernを「新」と和訳したことによります。

後に、英語名称は「rhythmic sportive gymnastics (リズムスポーツ体操)」と変更されたのですが、日本語の名称は変更されずそのままになっています。

現在、新体操には男子種目もできたのですが、種目の内容は男女で大きく異なります。女子種目は柔軟性が高く華麗な演技に特徴があり、男子種目は宙返りなどのタンブリングや力強い演技となっていることが特徴です。

第1回世界新体操選手権は1963年にハンガリーのブダペストで開催され、1984年ロサンゼルスオリンピックから個人総合が、1996年アトランタオリンピックからは団体がオリンピックの正式種目となりました。

日本では1968年に、全日本学生選手（個人競技）が行われことが新体操の歴史の始まりとなります。

女子種目で演技に使われる道具は5種類あり、ロープ、フープ、ボール、クラブ、リボンがそれに当たります。

TOKYO2020での個人総合はフープ、ボール、クラブ、リボンの4種目で競われ、各種目とも演技時間は1分15秒～1分30秒で行われました。

団体は1チーム5人で、種目は①ボール、②フープ・クラブ。各種目の演技時間は2分15秒～2分30秒で行われました。種目の内容は2年ごとに変わるのだそうです。

個人総合、団体とも、各種目の得点は演技の難度を示すDスコア（上限なし）と出来栄を示すEスコア（10点満点）の合計が得点となります。

上位者または上位チームが決勝へ進みますが、予選の得点は決勝に持ち越さないことになっています。

明日3月15日には、元フェアリージャパン団体代表の「松原梨恵選手」に西小に来ていただき、お話をさせていただきます。楽しみにしててくださいね。

